

～ 6 月定例議会～

6 月定例議会は、6 月 6 日から 6 月 26 日まで行われました。

市長からの「稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について」等の議案 10 件、報告 9 件同意案 1 件、発議案 1 件が提出され、いずれも原案を可決・同意しました。あわせて、「安全保障関連法案の徹底審議と国民への十分な説明を求める」意見書を全会一致で可決しました。

6 月定例議会主な議案内容等

慎重審議の結果、次の通り決まりました。

(1) 稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

公費を投入することにより所得の少ない第一段階の被保険者の保険料を軽減強化するもの
第一段階 保険料額（年額）27,600 円 ⇒ 24,800 円 に軽減

(2) 稲沢市介護保険条例の一部を改正する条例について

- 国民健康保険税の賦課限度額を医療費給付分について 52 万円（現行 51 万円）、後期高齢者支援金等分について 17 万円（現行 16 万円）に、介護給付金分については 16 万円（現行 14 万円）に引き上げるもの
- 国民健康保険税の 5 割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げをするもの

(3) 稲沢市一般会計補正予算

主な歳出：清水小学校の放課後児童クラブ開設費の計上
全日本小学生ボウリング競技大会等事業費補助金の計上
避難行動要支援者に対する同意書発送等経費の計上

(4) 学校用コンピューターほかの物品供給契約の締結について

(5) 稲沢市荻須記念美術館増築ほか工事の請負契約締結について

(6) 稲沢市平和浄化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

平成 28 年度から指定管理者制度を導入するためのもの

～ 7 月臨時議会～

7 月臨時議会は、7 月 10 日に開催されました。市長から「平成 27 年度稲沢市一般会計補正予算」など予算関係議案 2 件が提出され、可決されました。

議案内容

旧市民病院跡地から発見された医療系廃棄物の処理に 6 億円を計上するものであります。

ご意見・ご要望をお待ちしています！

市政に関するご意見、ご質問がありましたら「**星野事務所**」
(TEL/FAX:0587-32-9905)までご連絡ください。

E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jp でも受け付けています。

また、日頃の活動の内容をご紹介させていただくため、
ホームページを随時更新しています。

星野しゅんじ 稲沢市

検索

<http://shunji-hoshino.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/shunji.hoshino.inazawa>



プロフィール
1975 年愛知県稲沢市生まれ 40 歳
現在 稲沢市議会議員（三期）
議会活動
稲沢市議会副議長 建設委員会委員
土地開発公社理事
愛知県後期高齢者医療広域連合議会議員
家族 妻と一男一女の四大家族

☆ほしのマガジン☆

NO. 42

発行：星野しゅんじ後援会

〒492-8143 稲沢市駅前 3 丁目 2-21

TEL / FAX 0587-32-9905 E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jp

ホームページ <http://shunji-hoshino.com/>



20 年先の
「ありがとう」のまちづくりを目指して！



稲沢市議会議員 星野 俊次

～ごあいさつ～

連日、暑い日が続いていますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。
私は暑さに負けず活動させていただいています。

さて、全国で局地的な豪雨が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしました。また、箱根での火山性地震の発生、口永良部島、浅間山など日本でも噴火や地震が各地で発生しています。まだまだ、予断を許さない状況であります。自然災害の恐ろしさの再認識と防災意識の向上、「災害に強いまちづくり」を市民の皆さまと進めていきたいと思ひます。

2019 年のラグビーワールドカップ日本大会開催、2020 年の東京五輪開催、2027 年にはリニア中央新幹線が開通予定です。その一方で、全国の都道府県で人口減少していく 2020 年問題や団塊の世代が後期高齢者（75 歳以上）を迎える 2025 年問題と人口減少、高齢社会の到来が目前としています。

そのような中で、稲沢市は 10 年前に市町村合併をして「新稲沢市」が誕生しました。また、「新稲沢市民病院」の開院、「平和工業団地」の完成、「いなざわ特別支援学校」の開校、「夢逢橋」の開通など多くの事業が展開されてきました。今後は、それらの事業を受けて 20 年後、30 年後の「将来を見据えたまちづくり」を進めていく必要があります。

私には目標があります。20 年後、30 年後に子どもたちから「ありがとう」いわれるような「まち」にしていきたい。加えて、「このような地域社会、稲沢市をつくってくれてありがとう」というまちにしていきたい。もちろん、今までにこのような「まち」をつくっていただいた先輩にも感謝の気持ちを忘れずに活動をしていきます。

最後に、稲沢市が「キラリと輝く ひと☆まちづくり」を目指し、そして、市民の皆様のパイプ役と精いっぱい頑張る決意であります。

今回は、6 月定例議会、7 月臨時議会のご報告をさせていただきます。ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

